

## 東アジア文化フェスタ

真田紀子

10月14日祝日の月曜日、12時半から倉敷芸文館でサブタイトル“ここから始まる2019芸術の祭典 となりの国々と手をつなぎ 豊かな文化交流”が開催されました。

当日参加者はあまり多くありませんでしたが、出演者が多く、特に若い人が生き生きと演じたりパフォーマンスを披露したりと、あきることのない3時間でした。

開会に先立ち、最後に全員で歌う「心つなごう」の歌唱指導がありました。楽しく歌っていたら、太漏さんが私を探しに来て、舞台裏に連れていかれました。

開会のあいさつは日中友好協会岡山支部の私が担当することになっていたのを、うっかりしていました。

最初の出演者は“増田康記と倉敷ピースナイン”です。毎月行われる“うたごえ喫茶 ピースナイン”で結成されたバンドです。笠木透さんの名曲「あの日の授業～新しい憲法のはなし～」は何度聞いても素晴らしい曲ですね。次回のうたごえ喫茶は11月20日（水）14時からくらしき健康福祉プラザで行われるそうです。

次は鳥 紅霞さんの歌です。「夜来香」がとてもすてきでした。

山上茂典とその一座、JR（元国鉄）で働きながら、自分たちで作詞作曲した歌をうたうグループです。最後に披露した「哀号！光州！」は言葉の発する強さを感じました。

岡山朝鮮初中級学校舞踏部・民族管弦楽部の登場です。とても期待していましたが、その完成度の高さに驚きました。ただ、全員が女生徒だったのには、疑念が残りました。管弦楽で女生徒が椅子と自分の膝に琴を載せて弾いていましたが、日本の琴よりも小さく、扱いやすそうでした。中国の二胡とは違う弦楽器は何だったのでしょ。初級の生徒が踊る群舞も中等部の生徒が踊る小太鼓遊びも、常に笑顔で精いっぱい跳躍するのが、見ていて清々しい気持ちになりました。（写真）

ここで休憩があり、ロビーに出たら、日中友好協会のブースがつくられていて、曾田さんが当番をしていらっしゃいました。カレンダーや中国百科検定の申込み受付などをしていましたので、交代して当番をしました。

鑑賞の続きは、俊と宇摩・和楽器コラボレーションからです。女性が弾く津軽三味線と男性が叩く和太鼓の合奏です。女性は奄美大島の出身だそうです。津軽三味線に魅かれたわけですね。最後は即興だそうです。見事な撥（バチ）さばきとそれに合わせる太鼓の呼吸は見事でした。

劉 習韻さんの二胡演奏、倉敷支部で二胡講座を持っていらっしゃいます。第1第3の木曜日18時半から開催されています。ここからはプロの演奏家ですので、写真も録音もNGですと、司会の方から注意がありました。

福山市出身のソプラノ歌手、村上彩子さん、最初の曲が“佐藤春夫の詩に據る四つの無伴奏の歌”。声だけで「うぐいす」をうたわれました。素晴らしい声と表現力で、圧倒されました。その後「蘇州夜曲」「赤とんぼ」「落葉松」とうたわれた後、メッセージを読まれました。「私は韓国や台湾で何度もコンサートを行いました。皆さんに温かく迎えていただき、一度も嫌な思いをしたことはありません。これからも交流を続けていきます。音楽は国境を越えて、人々の心に直接届きます。今は、その国に行ったこともなく、知ろうともしない人たちが、ひどい言葉で他国を攻撃します。それは間違っています。私たちは、音楽を通して、東アジアの人々と繋がり、これからも友好を深めていかななくてはなりません。」万雷の拍手でした。最後に「故郷」をうたわれました。

最後は全出演者がそろい、”みんなで歌おう”です。「風になって～勇者の浪漫～」を関西高等学校吹奏楽部の皆さんが演奏し、リーダーがうたいました。そして「心つなごう」です。会場も一緒になって、合唱しました。あっという間の三時間でした。ご苦労様！



題字 藤原田 親

No. 907

2019/10/25

日中友好新聞

発行所  
日本中国友好協会  
〒111-0953  
東京都台東区浅草橋2-2-3  
03-5675-5580  
電話 03-5639-2149(FX)  
FAX 03-5639-2141  
http://www.jcf-net.jp  
E-mail: jcf@jcf-net.jp  
社印 00119-1-21178

日中友好協会  
岡山支部  
〒705-0034  
岡山市北区下伊福  
西町1-59 民主会館1F  
TEL: FAX 0861-258-8808

日中友好協会  
倉敷支部  
〒713-8031  
倉敷市福江町東通22-61-41  
TEL: FAX 0861-411-7800

日中友好協会岡山支部ホームページ  
http://rzhongyouhao.jinaa.net  
メールアドレス  
rzhongyouhaojiehuikayama@yahoo.co.jp





## 演劇「ちひろ」を鑑賞して

犬飼繁

十月七日(月)、前進座の演劇「ちひろ」を鑑賞しました。私は最初、見ようかどうしようか迷っていたのですが、珍しく妻が「見たい」というもので、見に行くことにしました。夫婦で演劇を鑑賞するのは初めてです。

作品は戦後の厳しい環境の中でも懸命に生きる人々を描いていきます。中でも、私の印象に強く残ったシーンは、ちひろが満州での体験を善明に語る場所です。ちひろの母は多くの若い女性を満州に送っていたようです。そうした中、自分だけが早く満州から引き揚げてきて、残された多くの人々は過酷な運命にさらされることになった。ちひろは自分だけが助かったことに後ろめたさを感じ、罪悪感にさいなまれてるように、私には感じられました。

そして私は、そこから「父と暮らせば」

の主人公を思い出していました。この女性も、父や多くの友人を原爆で失い、自分だけが生き残ったことに罪悪感を感じています。父は娘に幸せになってもいい、娘と若い男性が結ばれるのを望むのですが、娘は自分だけが幸せになることはできないと、苦しむシーンです。

戦争で多くの命が失われ、愛する肉親や友人を亡くし、生き残った人々は、状況は違えど、心に大きな傷を負う、本当に戦争とは残酷なものです。

ところで、私の父は海軍兵学校第七十五期で松本善明氏と同期だったそうです。その父が、私が大学進学で東京に行くことが決まった時、松本善明氏を訪ねていけ、彼はいい男だと言っていたのを思い出しました。当時の彼らは忠君愛国で一致していたのですが、それ以外に何か相通じるものがあつたようです。ちなみに、私の松本善明氏に対するイメージは、父のこの一言で決まっていました。



11月2日、中国電力安野発電所と原爆資料館を訪ねる旅行、締め切り間近(10月24日)です。申し込みはお早めに。

## 岡山支部新規講座開講

小川涼子

岡山支部の各講座の新学期がはじまっています。太極拳講座はメインのさんかく岡山会場の講習会が10月2日から第93期が始まりました。今期は十三勢をやっています。毎週1つずつ套路を覚えていくかたちで、全員で取り組んでいます。

操南公民館では新しく開講しました。月二回、金曜日の18時から19時半です。真向法や五禽戯を中心に体を動かすことを目的にやりはじめました。第一回が10月18日にありました。

太極拳講座はほかにも岡西公民館の日曜練習会や、西大寺教室があります。

中国語講座は、岡輝公民館で中級コースが月三回土曜日の18時から20時です。作文と教科書に沿った学習をしています。

初級コースは同じく岡輝公民館で月二回、火曜日の18時から19時半です。8月9月のプレオープンを経て、10月1日より第一期です。こちらは教科書に沿った学習と、漢詩をやっています。

どの講座も新学期がはじまったばかりですので、興味を持たれた方はお気軽にお問合せください。

12月8日に実施される第7回中国百科検定の申し込み締め切り11月8日が間近に迫ってきました。受験を考えている人は早めに申し込みをしましょう。



次回の新聞発送作業は11月1日(金)午後1時半から民主会館2階で行います。前回お手伝いくださった方です。  
葉井 小真 曾田 内坪 井 稲河

岡山支部  
第5回中国映画を見る会  
11月24日(日)  
10時～  
岡西公民館  
高倉健主演  
「君よ憤怒の河を渉れ」  
のリメイク版  
「マンハント」

